

請求の範囲

- [請求項1] バインダーの接着領域を有する不織布であって、
前記不織布は、前記接着領域からランダムに選択された厚さ方向の切断面を、厚さ方向に三等分し、それぞれ前記不織布の上層部、下層部、および中層部とし、各部分において、前記バインダーにより複数の単繊維が拘束されて一体化した繊維束を複数備え、
前記繊維束に存在する単繊維の総本数は、それぞれ上層部束内繊維総本数（ N_u ）、下層部束内繊維総本数（ N_b ）および中層部束内繊維総本数（ N_c ）とする場合、
 $N_u / N_c > 1.10$ かつ $N_b / N_c > 1.10$ を満たす不織布。
- [請求項2] 請求項1に記載の不織布であって、前記不織布中のバインダーの乾燥付着量が5～50質量%である、不織布。
- [請求項3] 請求項1または2に記載の不織布であって、バインダーがアクリル系樹脂、ポリウレタン系樹脂及びスチレン系樹脂から選ばれる少なくとも1種を含む、不織布。
- [請求項4] 請求項3に記載の不織布であって、バインダーがさらに顔料を含む、不織布。
- [請求項5] 請求項1～4のいずれか一項に記載の不織布であって、開孔率10%～50%のメッシュ構造を有する、不織布。
- [請求項6] 請求項1～5のいずれか一項に記載の不織布であって、不織布が、親水性繊維を主体繊維として備える、不織布。
- [請求項7] 請求項1～6のいずれか一項に記載の不織布であって、前記不織布の上層部、下層部、および中層部の各部分に存在する繊維束の数を、それぞれ上層部繊維束数（ B_u ）、下層部繊維束数（ B_b ）および中層部繊維束数（ B_c ）とする場合、
 $N_u / B_u > N_c / B_c$ かつ $N_b / B_b > N_c / B_c$ を満たす、不織布。

- [請求項8] 請求項1～7のいずれか一項に記載の不織布であって、
前記不織布の中層部に存在する繊維束の数を中層部繊維束数（ B_c ）とする場合、
 $N_c / B_c \leq 6.00$ を満たす、不織布。
- [請求項9] 請求項1～8のいずれか一項に記載の不織布であって、バインダーの非接着領域を有する、不織布。
- [請求項10] 請求項1～9のいずれか一項に記載の不織布であって、清掃用に用いられる不織布。
- [請求項11] 請求項1～10のいずれか一項に記載の不織布を製造する方法であって、
不織布原反に対してバインダーを少なくとも一方の表面に塗工またはディップニップする工程（A）と、
前記工程（A）を経た原反の表裏面を交互に別の熱ロールに接触させて乾燥させる乾燥工程（B）と、を少なくとも備える、不織布の製造方法。
- [請求項12] 請求項11に記載の不織布の製造方法であって、乾燥工程（B）において、熱ロールの温度が 100°C 以上であり、原反の表裏面をそれぞれ2回以上乾燥させる、不織布の製造方法。
- [請求項13] 請求項11または12に記載の不織布の製造方法であって、前記工程（A）は、
水分率 $50 \sim 450\%$ に調整された不織布原反に対して、バインダーを一方または双方の面に塗工する工程である、不織布の製造方法。
- [請求項14] 請求項11または12に記載の不織布の製造方法であって、前記工程（A）は、
バインダーを不織布原反に対してディップニップし、バインダー含有率を $50 \sim 800\%$ に調整する工程である、不織布の製造方法。
- [請求項15] 請求項11～14のいずれか一項に記載の不織布の製造方法であって、前記不織布原反の目付が、 10 g/m^2 以上 100 g/m^2 未満

である、不織布の製造方法。